

ご相談・お問い合わせ先

ご相談やお問い合わせは、コード番号をご確認の上、お買い上げの販売店又は「テルモ・コールセンター」にご連絡ください。
この血圧計のコード番号は、ES-P1000です。



テルモ・コールセンター

☎0120-00-8178

(9:00~17:00 土・日・祝日を除く)

テルモホームページアドレス <http://www.terumo.co.jp/>

©、TERUMO、テルモはテルモ株式会社の登録商標です。
スルーインはテルモ株式会社の商標です。

©テルモ株式会社 2005年9月改訂
ES_P1000_J_500_003

<切り取り線>

品質保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、通常のご使用において万一故障が発生したときには裏面の保証規定により無償修理いたします。品質保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

販売名 テルモ電子血圧計P1000

お名前

ご住所

TEL

お買い上げ
販売店名

印

お買い上げ
年 月 日

製造元：テルモ株式会社 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号

腕に通すだけの スルーインTM血圧計

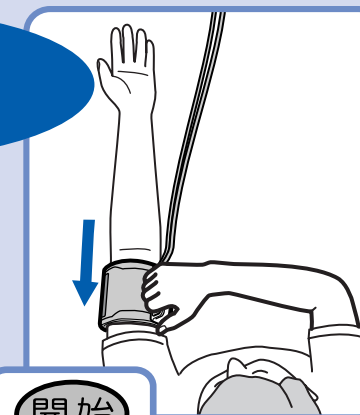
TERUMO®

取扱説明書 / 品質保証書

テルモ電子血圧計 P1000

取っ手を持って
腕帯を腕に通す

- 手のひらは上向き
- ひじが出るまで
- 取っ手はやや内側に



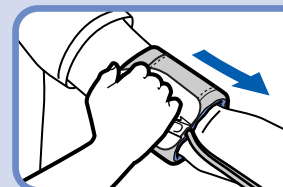
開始ボタンを押す

開始

測定値が表示される



腕帯を腕から抜く



ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、本取扱説明書は必ず保管してください。

2005年9月改訂

わんたい

腕帯のつけかた



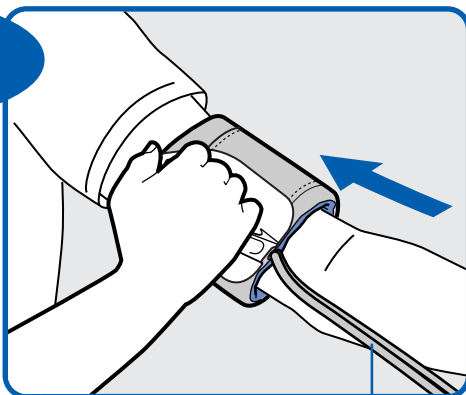
腕帯を正しくお使いいただくために、初めは、「腕帯用メジャー」で腕帯の数字をご確認ください。

2回目以降は、腕に通して腕に合うかご確認ください。ゆるすぎる方、通しにくい方は腕帯の数字に合わせて調節してください。調節は、腕帯を腕から抜いて行ってください。

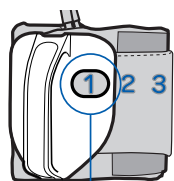
取っ手を持って腕帯を腕に通す

上着やセーター、厚手のシャツ等は脱いでから

薄手のシャツやブラウスであれば着たまま測れます。



チューブが手先側



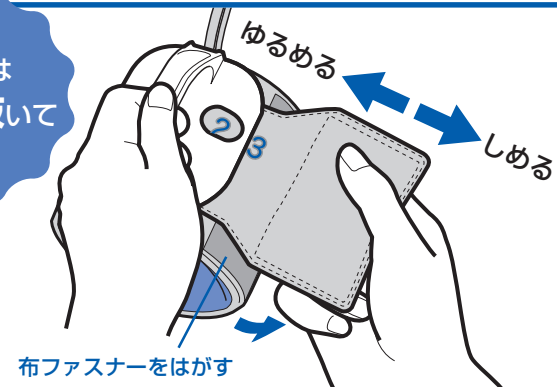
お買い上げ直後は、①に設定してあります。

腕の太さの目安

- ① 細めの腕 (腕周囲 22.6 ~ 26.0cm)
- ② 標準 (腕周囲 26.1 ~ 29.0cm)
- ③ 太めの腕 (腕周囲 29.1 ~ 31.5cm)

ゆるすぎるとき
通しにくいとき

調節は腕から抜いて



布ファスナーをはがす

ゆるすぎるときはしめる
(小さい数字に合わせる)

取っ手から手を離して腕帯が回ったり、ずり落ちるなど、ゆるすぎるときは、図のように腕帯をしめてください。

通しにくいときはゆるめる
(大きい数字に合わせる)

腕帯がひじの上まで通らないときや、きつい圧迫感があるなど、通しにくいときは、図のように腕帯をゆるめてください。

こんなときは腕帯を調節してください。

- ご家族等、自分以外の方が測定して数字が変わったとき
- ①に合わせてもゆるいとき → ①よりしめてください。
- ③に合わせても腕が通らないとき → ③よりゆるめてください。
- 「E-3」のエラーが出やすいとき
→ 腕帯がゆるいと、「E-3」のエラーが出やすくなります。

安全上の注意

ご使用前によくお読みの上、
お使いください。

注意文の表示内容について

本取扱説明書では、表示内容に従わず、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。
表示内容に従わず、本来の目的から逸脱した使いかたにより、万一、死亡や重傷を負ったり、物的損害が発生しても、弊社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



**禁忌
禁止**

絶対に行ってはいけないことを示します。

- ・本製品の性能を超える、又は不適正な使いかたにより、死亡又は重症を負う可能性があります。



警告

特に注意していただきたいことを示します。

- ・適正に使用しても、注意を怠ると死亡又は重症を負う可能性が想定されます。



注意

使用にあたり、一般的な注意を示します。

- ・誤って使うと、傷害を負う可能性、又は物的損害※のみが発生が予想されます。

※物的損害とは、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

⚠️ 禁忌・禁止 必ずお守りください

測定結果の自己診断、治療は行わない。
治療が必要な場合は、医師の診断のもとで行う必要があります。



引火性のある環境では使用しない。
引火又は爆発を引き起こす可能性があります。

けがや治療中の腕では測定しない。
症状が悪化する可能性があります。

点滴静脈注射や輸血を行っている腕で測定しない。
けがや事故が起きる可能性があります。

⚠️ 警告 必ずお守りください

腕部に重度の血行障害のある場合は、医師に相談の上、慎重に適用する。
循環障害に伴う体調不良になる可能性があります。

透析治療中、又は抗凝固剤、抗血小板剤、ステロイド剤等を使用している場合は、医師に相談の上、慎重に適用する。
内出血を起こす可能性があります。



お子さまだけで使わせたり、自分で意思表示できない人に使用する場合は、慎重に適用する。
けがや事故が起きる可能性があります。



⚠️ 注意 必ずお守りください

添付文書及び本取扱説明書を確認の上、使用する。

上腕部以外では測定しない。
故障や事故の原因となります。



使用の前に、外観に破損等がないことを確認し、
異常が認められた場合、使用しない。
測定値の異常や、けがの可能性あります。

他の機器と併用するときは、影響の有無を確かめ、誤作動する
場合には併用しない。

本製品に異物や液体が入らないように注意し、もし入り込んだ場
合、そのままの状態で使用しない。
故障の原因となります。

本取扱説明書に従い、正しい位置に腕帯を装着する。
測定精度が保証できません。

まくり上げたシャツ等で上腕を圧迫しない。
測定値に誤差を生じたり、測定できません。

腹部を圧迫した姿勢や、ひじを浮かせたり、ひじを極端に曲げた
姿勢で測定しない。
測定値が変化することがあります。

連続測定によりうっ血した場合は、うっ血を取り除いてから測定
する。
測定値が変化することがあります。

しばらく使用しなかったときは、使用前に必ず作動（電源が入る、
加圧するなど）を確認してから使用する。

⚠️ 取扱上の注意

強い静電気や電磁波に近づけたり、近くで携帯電話を使用しない。
誤作動、故障の原因となります。

腕帯に布等を縫い付けない。
故障の原因となります。

腕帯をたたいたり、チューブを引っ張ったりしない。
測定値の異常や、故障の原因となります。

寒い部屋では測定しない。
血圧が高くなる可能性があります。

動かなくなったり、異常がある場合は、直ちに使用を中止する。
けがや故障の原因となります。

チューブ及び腕帯を、はさみ等鋭利なもので傷つけない。
測定値に誤差が生じたり、測定できません。

騒音や振動がある場所で測定しない。
測定精度が保証できません。

分解・修理・改造は行わない。
故障の原因となります。

⚠️ 電池に関する注意

電池の交換はプラス、マイナスの向きを本製品の表示に合わせて、
マイナス側から入れる。
電池の向きを間違えたり、マイナス側の電極バネを無理に曲げて入れる
と、乾電池が発熱し、故障の原因となります。

長時間使用しない場合は電池を外しておく。
電池が液漏れし、故障の原因となります。

電池の交換は、同じ種類の新品の単3形アルカリ乾電池4本を、す
べて同時に行う。
古い電池を混ぜて使用すると電池が発熱し、故障の原因となります。

⚠ 保管上の注意

腕帯を無理に折り曲げ、小さくたたんだり、チューブを強く折り曲げた状態で保管しない。

変形や空気漏れ、エラーが起こることがあります。

水ぬれに注意し、日光及び高温多湿を避けて保管する。

日光や紫外線等の強い光が当たる場所に保管したり、長時間放置しない。

外装の変色や劣化が発生することがあります。

気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気等により悪影響の生じる可能性のある場所に保管しない。

本製品は気密構造ではないので、活性ガス(消毒用ガスも含む)環境や多湿環境等で使用、放置しない。

装置内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷により、故障の原因となります。

化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しない。

振動、塵埃、腐食性ガス等の多い場所に保管しない。

不安定な場所に置かない。床への落下等による衝撃が加えられた場合は、使用しない。

本製品の外観に異常が認められない場合でも、内部が破損している可能性がありますので、故障と思われる場合は、点検をお申し付けください。

防虫剤の入ったタンス等に保管しない。

製品が劣化する可能性があります。

⚠ 清掃上の注意・お手入れの方法

本体、腕帯、ACアダプタを水洗いしない。

故障の原因となります。

ドライヤー等を使用して乾燥させない。

故障の原因となります。

本体、腕帯、チューブをアルコール、シンナー、ベンジン等の有機溶剤、ポビドンヨードでは拭かない。

本製品の破損や変色、故障の原因となります。

お手入れ方法

本体の汚れがひどい場合は、水又はぬるま湯を浸してよくしぼったガーゼ等で速やかに拭き取ってください。

⚠ ACアダプタ使用上の注意

付属及び専用のACアダプタ以外を使用しない。また、他の電気製品等を使用しない。

火災、感電の原因となります。

AC100V以外の電源で使用しない。

火災、感電の原因となります。

ACアダプタのプラグにゴミ等を付着させない。

感電及び故障の原因となります。

ACアダプタのコードやコネクタが傷んだり、コンセントのさし込みがゆるい場合は使用しない。

感電やショート、発火の原因となります。

ACアダプタのコードの上に重いものを置かない。

コードの破損により、火災、感電の原因となります。

長時間使用しない場合、ACアダプタをコンセントから抜く。

絶縁劣化により感電や漏電火災の可能性あります。

ACアダプタのコードを釘等で固定しない。

コードの破損により、火災、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに必ずACアダプタを持つ。コネクタを本体から抜くときは、コネクタを持つ。

感電及びけがや故障の原因となります。

清掃するときは、必ず電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いて行う。その際、ぬれた手で抜き差ししない。

感電、けがの原因となります。

目次

ご使用前に

次のものがそろっていますか 11

ACアダプタを接続する 12

測定しましょう

腕に通す 13

測定する 15

結果を記録する 17

別売品について 17

測定値が高い／低いと感じたら 18

測定値が測るたびに違うと感じたら 19

測定を終える・かたづける 20

記憶呼出について

平均値や過去の測定値を見る 22

記憶を消去する 23

困ったときに

再加圧するのが気になる場合（手動加圧） 25

日付・時刻を調整する 26

乾電池で使用する 29

故障かな？と思ったら 31

エラー表示が出たとき 33

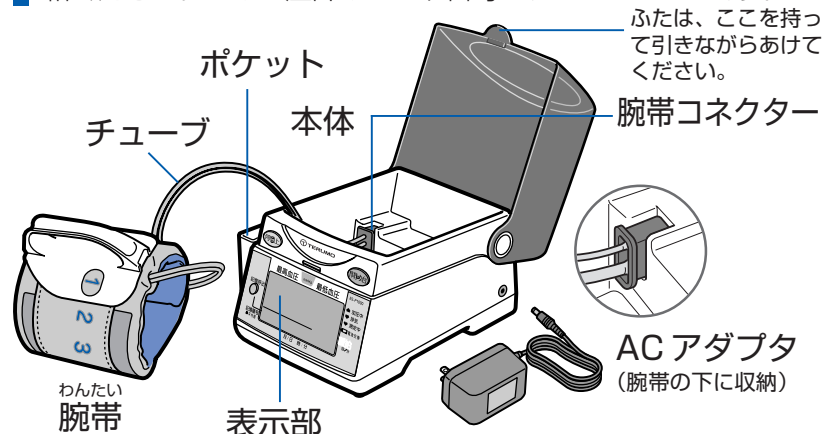
仕様／保証規定 34

品質保証書 裏表紙

ご使用前に

次のものがそろっていますか

万一、不足しているものがある場合、すぐにお買い上げの販売店又はテルモ・コールセンター(☎0120-00-8178)までご連絡ください。この血圧計のコード番号は、ES-P1000です。



保護フィルムが貼られています。(はがしてください)

腕帯コネクタを外さない。
頻繁に腕帯コネクタを外したり、取り付けたりすると、故障の原因となります。

「取扱説明書」や「血圧記録帳」は、本体左側のポケットに収納できます。

取扱説明書／品質保証書



この冊子が品質保証書を兼ねています。大切に保管してください。

血圧記録帳／血圧の知識



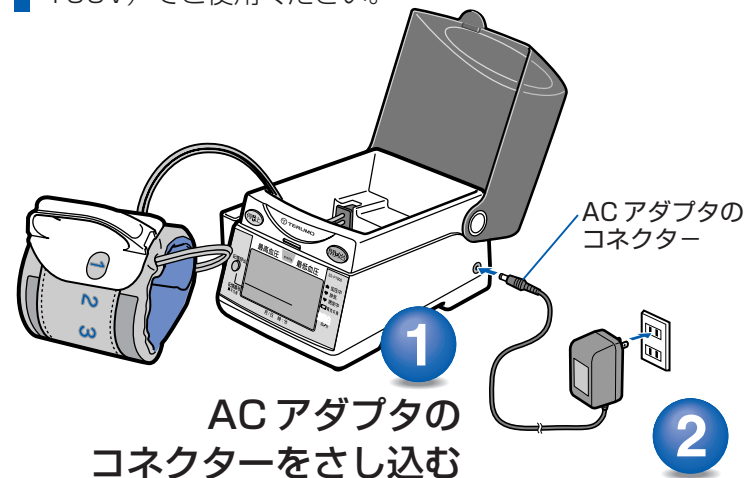
血圧管理にお役立てください。

添付文書



ACアダプタを接続する

この血圧計は、ACアダプタを接続して、家庭用コンセント(AC100V)でご使用ください。



1 ACアダプタのコネクタをさし込む

2 ACアダプタを電源コンセントにさし込む

使用可能なACアダプタ

- ・付属品：型式 NC063X060J
- ・別売品：「適応機種：テルモ電子血圧計P1000」をお確かめの上、テルモ電子血圧計取扱店でお買い求めください。仕様は商品改善等のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

旅行先でご使用になる場合など、乾電池(単3形アルカリ乾電池4本)でも使えます。電池のセット方法等については、29ページをご覧ください(乾電池は付属していません)。

ACアダプタを接続して長期間使用するときは、乾電池を取り外す。

乾電池を入れたままにすると、液漏れによる故障の原因となります。

測定しましょう

腕に通す

取っ手を持って腕に通すだけで装着できます。
本製品には専用の腕帯を使用してください。

左腕の場合



測定しましょう

腕帯は左腕・右腕のどちらに巻いてもかまいません。いつも同じ腕で、手のひらを上に向けて測定してください。右腕と左腕では測定値に差が出ることがあります。

腕帯がゆるすぎると正しく測定できません。腕帯の調節の方法は2ページをご覧ください。

4 腕の力を抜いて 深呼吸

正しい姿勢が
できたら、
次のページへ

右腕の場合



測定しましょう

測定する

1 [開始] ボタンを短く 1 回押す



数秒後に加圧が始まり、測定を開始します。
測定中は取っ手を持たないでください。

安静な状態で測定してください。測定値が変化することがあります。

測定中に腕や手首、体を動かさないでください。エラーが表示されたり、再加圧することがあります。



途中で止めたいときは、**[停止] ボタンを押す**

停止

測定中は血压計や載せているテーブル等をたたかない。
測定精度が保証できません。

2 測定値が表示される



測定が完了すると、最高血圧、最低血圧、脈拍数が表示されます。また、3秒ごとに測定日と測定時刻が交互に表示されます。

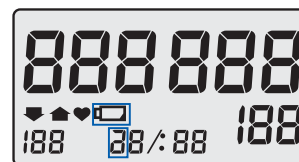


エラー表示「E-数字」等の表示は正しく測定できなかったことを示します。33ページをご覧ください。

測定中の画面の変化

初期表示 (1 秒間)

この画面での  表示は、電池交換のお知らせではありません。
 表示は故障ではありません。

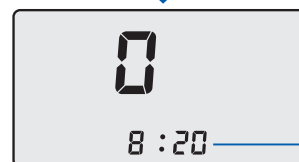


時刻表示

時刻が表示されます。

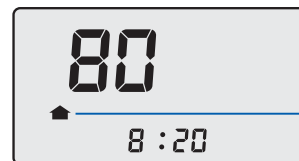
排気終了

排気マーク(▼)が点滅しているときは、腕帯内の余分な空気を抜いています。



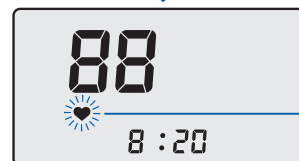
加圧開始

血圧に合わせて最適な圧力まで自動的に加圧します。



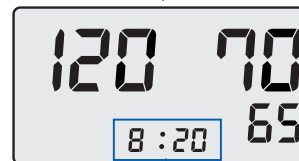
測定中

脈拍を検出すると測定中マーク(♥)が点滅します。



測定完了

最高血圧、最低血圧、脈拍数が同時に表示されます。



(例) 10/25
8:20

3秒ごとに測定日と測定時刻を交互に表示

結果を記録する

血圧は常に変化しています。1回の測定値で一喜一憂せず、毎日続けて測定し、ご自分のおよその平常値を把握しましょう。

血圧の記録には、別冊の『血圧記録帳』をご利用ください。



数値を忘れたら、[記憶呼出]

測定が完了してから約3分30秒後には自動的に電源が切れ、測定値の表示も消えてしまいます。数値を記録する前に電源が切れたときや、前回の測定値を調べたいときの操作方法については、22ページをご覧ください。

血圧計が記憶しているから
安心!



別売品について

腕帯、ACアダプタは別売品がございます。劣化が激しいときは、「適応機種：テルモ電子血圧計P1000」をお確かめの上、テルモ電子血圧計取扱店でお買い求めください。

*別売品のACアダプタは形状が異なりますが、問題なくお使いいただけます。

測定値が高い／低いと感じたら

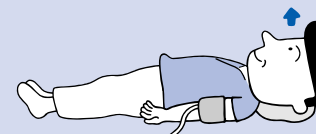
腕帯の通しかた・姿勢は正しいですか？

次のような腕帯の通しかたや測定時の姿勢では、測定結果が不安定になったり、正しく測定できないことがあります。1～2ページや13～14ページをご覧ください。正しく測定してください。



寝ながら測るときの正しい姿勢

あおむけの姿勢をとります。測定中は天井を見て、首や体を動かさないようにします。

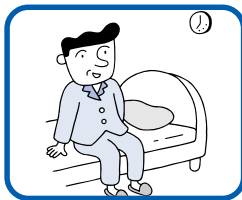


測定値が測るたびに違うと感じたら

いつも正しい測りかたをするようにここがけていますか？
(13～14ページを見て、正しい測りかたをもう一度確認しましょう。) また、下記のことにも注意しましょう。

毎日同じ時間帯に測っていますか？

自分が一番リラックスできる時を選んで、毎日同じ時間帯に測定することをお奨めします。



いつも同じ腕で測っていますか？

右腕と左腕では測定値に差が出るため、血圧を測るときは、いつも同じ腕に腕帯を巻くことが大切です。



うっ血したまま何度も測っていませんか？

ちょっとした姿勢の変化や、呼吸、精神状態で、血圧は変化します。また、連続して測ると、血管がうっ血して値が変化することがあります。測り直すときは、腕を上げて手を握ったり開いたりして、うっ血を取り除きましょう。



アドバイス

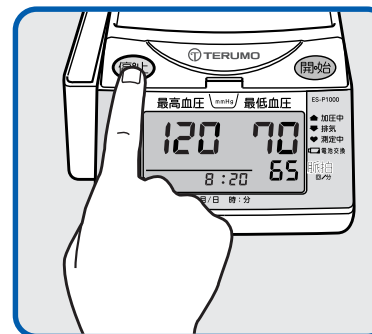
血圧は常に変動しています

血圧は1日10万回変わるとも言われています。1回ごとの数値ではなく、1日の変化の傾向を知ることが大切です。また、緊張しているときや室温が低いときは、血圧が上がります。1日のうちでも、起床直後、食事の前後、運動の前後等で血圧は常に変動しています。いつも同じ時間帯に、同じ環境で測るようにしましょう。

測定を終える・かたづける

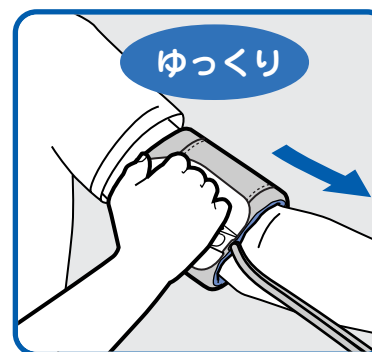
腕帯、ACアダプタを一緒に収納できます。

1 [停止] ボタンを押して電源を切る



押し忘れても、約3分30秒後に自動的に電源が切れます。

2 取っ手を持って、腕帯を抜く

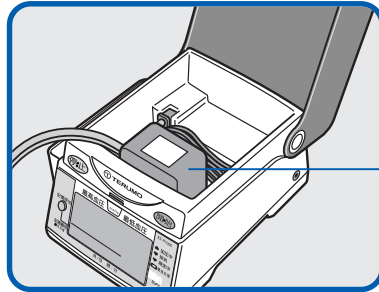


排気マーク(▼)の消灯を確認してから抜いてください。

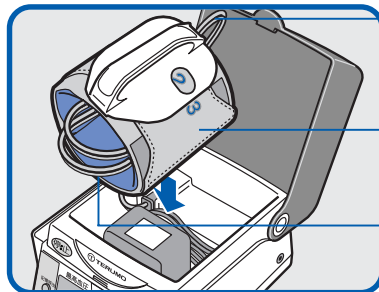
布ファスナーをはがす必要はありません。

記憶呼出について

3 ACアダプタと腕帯を本体に収納する



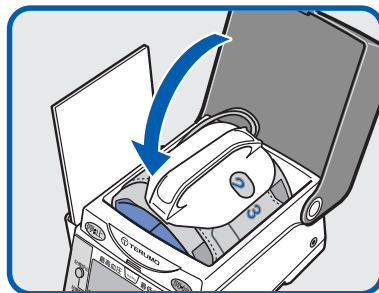
ACアダプタ



チューブが奥を向くように

布ファスナーをはがさずに

余ったチューブは腕帯の中に



チューブを強く折り曲げない。

空気漏れ等の原因となり、正しく測定できなくなります。

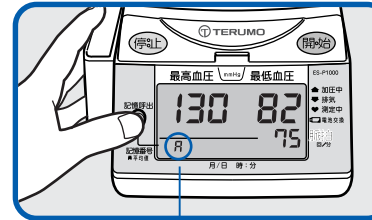
「取扱説明書」と「血圧記録帳／血圧の知識」は、本体側面のポケットに収納してください。

測定しませう

平均値や過去の測定値を見る

平均値を見る

[記憶呼出] ボタンを1回押す



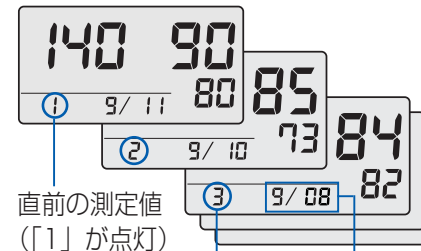
[記憶呼出] ボタンを1回押すと、記憶している測定値すべての平均値が表示されます。

Ⓐ: 平均値 (AVERAGE) を示す記号

ご購入直後、又は記憶を消去した直後は、「---」と表示されます。

過去の測定値を見る

さらに [記憶呼出] ボタンを押す



直前の測定値 (「1」が点灯)

3回前の測定値

(「3」が点灯) 3秒ごとに測定日と測定時刻を交互に表示

[記憶呼出] ボタンを押すごとに、測定値がさかのぼって表示されます(最大30回)。

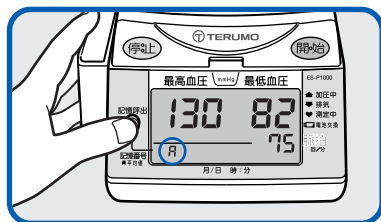
測定値がないとき(ご購入直後や記憶を消去した直後)は、電源が切れます。

記憶呼出しませう

記憶を消去する

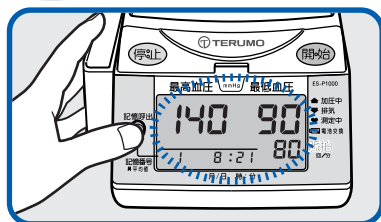
続けて何度か測定して、その平均値を記録したいときには、過去の測定値が平均値に反映されないように、すべての記憶を消去します。
(記憶を部分的に消去することはできません。)

1 [記憶呼出] ボタンを1回押して、平均値を表示する



過去の測定値が表示されているときは、記憶を消去できません。必ず平均値を表示してください。

2 [記憶呼出] ボタンを3秒間押し続ける

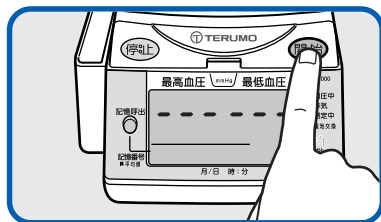


表示が変わり、点滅します(10秒間)。

消去をやめる場合は

- ・点滅中に [停止] ボタンを押す
 - ・何も操作しない (10秒間)
- その後電源が切れます。

3 測定値の点滅中に [開始] ボタンを押す



記憶が消去されると、「-----」が表示され、約2秒後に電源が切れます。

知っておこう！

チェック！

自分以外の方が使ったときは、要注意！

ご家族等、自分以外の方が使ったときには、記憶を消去しないと正確な平均値になりません。消去の方法は23ページをご覧ください。

31回以上前の記憶は消えます

血圧を測定するたびに新しい測定値は自動的に記憶されます。「E-数字」等のエラーが起きたときは記憶されません。31回以上測定すると、最も古い測定値から自動的に消えていきます。

前にさかのぼり、最後は電源オフ

[記憶呼出] ボタンを何度か押すと、押した分だけ前の測定値が表示されます。一番古い測定値が表示された後に、さらにボタンを押すと、最後は電源が切れます。

見終わったら [停止] ボタン

平均値や過去の測定値を見終わったら、[停止] ボタンを押せば電源を切ることができます。何も操作せずに約3分30秒たつと、自動的に電源が切れます。

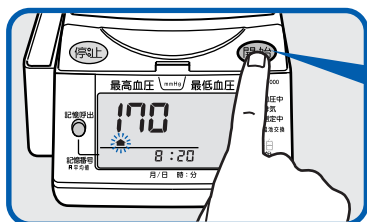
困ったときに

再加圧するのが気になる場合

手動加圧

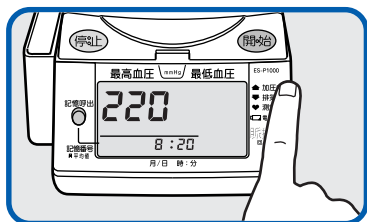
血圧値が高めで、いつも再加圧するのが気になる方は、手動加圧での測定をお奨めします。

1 [開始] ボタンを押し続ける



押し続ける

2 ご自分の予想される最高血圧より 40 ~ 50mmHg 程度高くなったら指を離す



しばらくすると、脈拍に合わせて測定中マーク(♥)が点滅します。測定が終わったら測定値を見て記録しておきましょう。

手動加圧の場合、加圧を必要以上に高くしない。
腕に一過性的の内出血が発生することがあります。

困ったときに

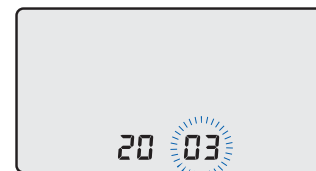
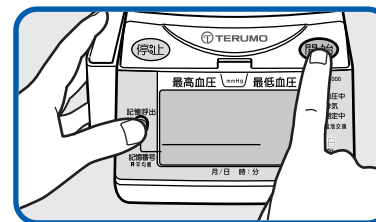
日付・時刻を調整する

この血圧計は、ご購入時に日付・時刻を設定済みですが、日付や時刻がずれたときは次のように調整してください。

1 表示が消えていること (電源オフ)

電源オフの状態から始めます。
表示が出ているときは、[停止] ボタンを押して電源を切ってください。

2 [記憶呼出] ボタンを押しながら [開始] ボタンを押す



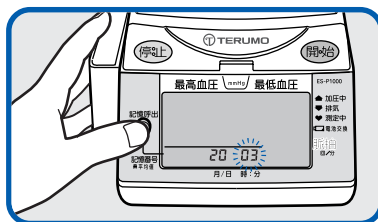
西暦の数字が点滅する

「西暦」を修正したいときは、[開始] ボタンを押すと、数字が増えます(最大2031)。



困ったときに

3 [記憶呼出] ボタンを押す



月の数字が点滅する

修正する必要がないときは、続けて [記憶呼出] ボタンを押すと、「月」「日」「時」「分」の順で点滅します。変えたい項目が点滅しているときに [開始] ボタンを押して、日付や時刻を合わせてください。

ボタンのはたらき

記憶呼出

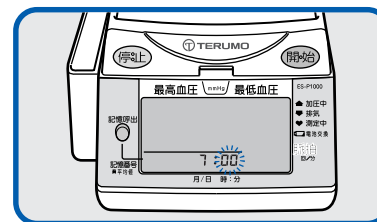


- ・「西暦」「月」「日」「時」「分」の順で点滅
- ・「分」まで調整してから押すと、電源が切れる

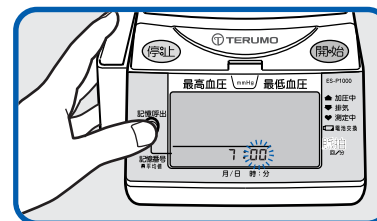
開始

- ・点滅している「時」「分」等の数字を増やす
- ・押し続けると速くなる
- ・数字が最後までいくと最初に戻る

4 時刻を「分」まで正しく合わせる



5 [記憶呼出] ボタンを押す



「分」まで合わせてから、[記憶呼出] ボタンだけを押し、設定が終了して電源が切れます。

うまく設定できなかったときは、もう一度手順①から操作し直してください。

困ったときに

困ったときに

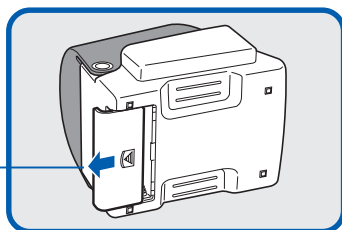
乾電池で使用する

この血圧計は、乾電池で使用することもできます。単3形アルカリ乾電池を4本お買い求めください。

電池カバーの取り外し、取り付けでは、無理な力を入れない。
破損や故障の原因となります。

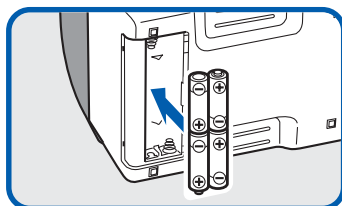
1 電池カバーを 取り外す

◀部を押すようにしながら、
矢印の方向に取り外す

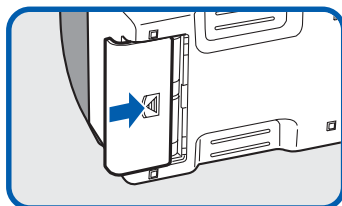


2 電池を入れる

単3形アルカリ乾電池4本を
⊕、⊖表示に合わせて入れる



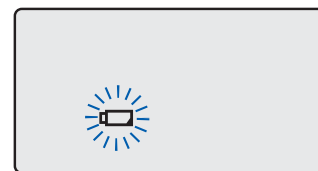
3 電池カバーを 取り付ける



本体に傷がつくことがありますので、収納したACアダプタが飛び出さないように本体を傾けてください。

電池交換の目安

乾電池でご使用の場合、測定中に下の表示が出たときは、同じ種類の新品の単3形アルカリ乾電池4本を用意して、電池を交換してください。古い電池を混ぜて使用すると電池が発熱し、故障の原因となります。新しい電池の入れかたは、29ページをご覧ください。



電池交換マークのみが点滅
又は点灯



〔開始〕ボタンを押しても
何も表示されない

- 血圧値にもよりますが、約300回ご使用になれます。
(新品の単3形アルカリ乾電池使用、180mmHg 加圧、周囲温度25℃、腕周囲28cm)
- 〔開始〕ボタンを押した直後の初期表示(すべてのマークが点灯)で、電池交換マークが点灯するのは、交換のお知らせではありません。(16ページ参照)
- 電池テスターで残量ありと表示された電池であっても、この血圧計では使用できないことがあります。

故障かな？と思ったら

ご不審の点があるときは、まず下記の項目についてご確認ください。
それでも測定が正常にできない場合は直ちに使用を中止して、34ページの「保証規定」をお読みの上、アフターサービスをお申し付けください。

△ 注意

測定部位の血流が少ない場合や、不整脈の頻度の高い場合は、慎重に適用してください。測定値に誤差を生じたり、測定できない可能性があります。

こんなとき	原因	対処方法	参照
腕帯を①に合わせているのに、ゆるすぎる。	腕帯の調節が正しくない。	①よりしめて、数字の表示がないところに合わせて測定してください。	2ページ
腕帯を③に合わせているのに、腕が通らない。	腕帯の調節が正しくない。	③よりゆるめて、数字の表示がないところに合わせて測定してください。	2ページ
[開始] ボタンを押しても何も表示されない(測定が始まらない)	ACアダプタのコネクターが外れている。	ACアダプタのコネクターをしっかりと接続してください。	12ページ
	ACアダプタがコンセントから外れている。	ACアダプタをコンセントに接続し直してください。	12ページ
	電池の入れかたが間違っている。	電池を正しく入れ直してください。	29ページ
	電池が消耗している。	4本とも新しいアルカリ乾電池と交換してください。	29ページ
□(電池交換マーク)のみが点滅又は点灯する	電池が消耗している。	4本とも新しいアルカリ乾電池と交換してください。	29ページ
	寒冷時に、電池の出力が一時的に弱くなっている。	電池を手で温めたり、暖かい場所にしばらく放置してからお使いください。	—
ACアダプタを使用しているのに電池交換マークが点滅する	ACアダプタがコンセントから外れている。	ACアダプタをコンセントに接続し直してください。	12ページ
測定できる回数が少ない	アルカリ乾電池を使用していない。	アルカリ乾電池を使用してください。	29ページ
途中で測定できなくなる	電池が消耗している。	4本とも新しいアルカリ乾電池と交換してください。	29ページ
測定値が ・高すぎる ・低すぎる ・測るたびに違う	正しい方法、姿勢で測定していない。	「測定値が高い／低いと感じたら」をご覧ください。	18ページ
	血圧は1日のうちで常に、変動しています。続けて測定しても値が違う可能性があります。	「血圧は常に変動しています」をご覧ください。	19ページ
	腕帯がゆるすぎる。	1つ小さい数字に合わせて、腕帯を調節してください。調節した腕帯を腕に通して、ひじの上まで通らないときは、数字の表示がないところに合わせて測ることもできます。	2ページ
脈拍数が多すぎる 脈拍数が少なすぎる	測定中に腕や体が動いた。	測定中は腕や体を動かさずに、再度測定してください。	15ページ
	運動直後に測定した。	5分以上安静にしてから、再度測定してください。	—
電源が自動的に切れた	測定後約3分30秒間経過した。	故障ではありません。	20ページ
	記憶消去の際、表示点滅後10秒間経過した。	故障ではありません。	23ページ
	記憶消去が完了した。	故障ではありません。	23ページ
	日付・時刻の調整が終了した。	故障ではありません。	28ページ
	[記憶呼出] ボタンを押した。(記憶値がないとき、一番古い記憶値表示のとき)	故障ではありません。	22・24ページ
測定中に加圧が止まった後、再び加圧する	より正確に測定するために、再加圧を行っている。	そのまま測定し続けてください。再加圧が気になる方は、手動加圧で測定してください。	25ページ
	測定中に腕や体が動いた。	測定中は腕や体を動かさずに、再度測定してください。	15ページ
時刻表示部が「- : -」になる	内蔵の時計用電池が消耗している。	テルモ・コールセンターにお問い合わせください。	—

エラー表示が出たとき

うまく測定できなかった場合、「E-数字」等のエラー番号が表示されます。表の対処方法に従い、再度測定してください。
それでもエラーが表示される場合、34ページの「保証規定」をお読みの上、アフターサービスをお申し付けください。その際に、エラー番号をお知らせください。

エラー表示	エラーの原因	対処方法
E-1	腕帯コネクタが外れている。	腕帯コネクタを本体にしっかりと接続してください。
E-2	チューブが折れている。	チューブの折れを直してください。
E-3	腕帯がゆるい。測定中に動いた。	腕帯を合わせ直し、体を動かさずに測定してください。
E-4	測定中ひじを曲げた。	ひじをのぼして、腕を動かさず測定してください。
E-5	測定中、何度か腕を動かした。	体を動かさずに測定してください。
E-6	測定中、何度か腕を動かした。	体を動かさずに測定してください。
E-E	故障しています。	アフターサービスをお申し付けください。

困ったときに

仕様

販売名	テルモ電子血圧計P1000
型式	ES-P1000
外形寸法	本体：幅150mm×奥行200mm×高さ206mm
測定可能な腕周囲	約17cm～32cm
質量	本体：800g(電池除く)
測定範囲	圧力：20～280mmHg 目量(断続指示間隔)：1mmHg 脈拍：30～199回/分
精度	圧力：±4mmHg 脈拍：±5%
測定方式	オシロメトリック法
電源	AC100V(ACアダプタ)50/60Hz DC6V又はDC4.8V(単3形電池4本)
消費電力	9VA(ACアダプタ使用時) 3.3W(単3形電池4本使用時)
使用回数	連続約300回(新品の単3形アルカリ乾電池使用、180mmHg加圧、周囲温度25℃、腕周囲28cm)
使用環境	温度 10～40℃ 相対湿度30～85%RH(ただし、結露なきこと)
保存環境	温度-20～60℃ 相対湿度10～95%RH(ただし、結露なきこと)
電撃保護	クラスⅡ機器及び内部電源機器 BF形装着部
付属品	取扱説明書/品質保証書、血圧記録帳、添付文書、ACアダプタ

本製品はEMC規格(電磁両立性)に適合しております。(IEC 60601-1-2:1993)
※精度(圧力)については計量法に基づいております。
仕様は商品改善等のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

別売品 腕帯/テルモ電子血圧計専用ACアダプタ

保証規定

- 保証期間は、お買い上げ後1年です。
- ご使用中、故障が発生した場合は、テルモ・コールセンターへ本証を切り取り現品にそえて、修理をご依頼ください。なお、保証期間を過ぎている場合は、テルモ・コールセンターへの送料はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。
- 保証期間中に、通常のご使用において万一故障が発生したときは無償修理いたします。
- ただし、下記の場合は保証期間中でも有償になります。
 - ご使用上で取り扱いの過誤により発生した故障。
 - 製品の改造、不当な修理により発生した故障。
 - 火災、地震、水害等天災地変などの不可抗力による故障及び損傷。
 二. 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
 - 消耗部品(腕帯)。
 - 上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により発生した故障。
 - 品質保証書のご提示がない場合。
 - 品質保証書にお買い上げ日、販売店名の記載がない場合、また、字句を書き換えられた場合。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

修理受付先：テルモ・コールセンター

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号 TEL 0120-00-8178